



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 常磐興産株式会社

上場取引所 東

コード番号 9675 URL <http://www.joban-kosan.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 直美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート部門担当 (氏名) 渡辺 淳子

TEL 03-3663-3411

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,397	△23.1	△276	—	△250	—	△237	—
2019年3月期第1四半期	7,019	△6.4	△269	—	△252	—	△273	—

(注)包括利益 2020年3月期第1四半期 △428百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △329百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△26.99	—
2019年3月期第1四半期	△31.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	49,357	14,006	28.3
2019年3月期	51,836	14,610	28.1

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 13,972百万円 2019年3月期 14,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,670	△3.7	1,050	109.5	940	116.3	740	128.0	84.24
通期	30,330	5.9	940	243.6	630	574.3	400	—	45.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	8,808,778 株	2019年3月期	8,808,778 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	24,648 株	2019年3月期	24,560 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	8,784,137 株	2019年3月期1Q	8,784,675 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費も持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行きなど海外経済の不確実性、消費税率の引き上げに対する心理的影響により、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況において、スパリゾートハワイアンズにつきましては、大型連休の影響等もあり前年同期に比し利用者数が宿泊・日帰りともに増加し、増収増益となりました。

燃料商事事業につきましては、主に石炭販売数量の大幅な減少により減収減益となり、製造関連事業及び運輸業につきましては、概ね堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は53億97百万円（前年同期比16億21百万円、23.1%減）、営業損失は2億76百万円（前年同期は営業損失2億69百万円）、経常損失は2億50百万円（前年同期は経常損失2億52百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、2億37百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億73百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[観光事業]

スパリゾートハワイアンズにつきましては、ゴールデンウィークからのロングランイベントとして「OHANAでちゃれんじ!しまじろうとうみのたんけんたい」を開催するとともに、IT化推進による利便性の向上を図るため、日帰り施設入場口に自動入場券機及び自動改札を導入致しました。

日帰り部門につきましては、施設と連動させたロングラン型のイベントを実施するとともに、早期かつ多方面への広報活動に注力したこと、またゴールデンウィークが10連休となったこととも相まって、利用人員は270千人（前年同期比5千人、1.9%増）となり、利用単価は3,766円（前年同期比304円、8.8%増）となりました。

宿泊部門におきましては、3世代ファミリーの個人客が堅調に推移したこと、大型団体を獲得したことにより、利用人員は96千人（前年同期比2千人、2.2%増）となり、利用単価は14,358円（前年同期比176円、1.2%増）となりました。

スパリゾートハワイアンズ・ゴルフコースは、首都圏からの宿泊ゴルフバックがやや減少するもほぼ堅調に推移し、利用人員は13千人（前年同期比0千人、5.5%減）となりました。

この結果、当部門の売上高は、25億91百万円（前年同期比1億17百万円、4.8%増）となり、営業損失99百万円（前年同期は営業損失1億48百万円）となりました。

[燃料商事事業]

建材資材部門及び石油部門につきましては、販売数量が増加し、増収となりましたものの、石炭部門につきましては、電力及び一般産業向け販売数量が大幅に減少し、減収となりました。また発電事業につきましては、堅調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は、19億20百万円（前年同期比17億31百万円、47.4%減）、営業利益は10百万円（前年同期比30百万円、73.5%減）となりました。

[製造関連事業]

主に国内及び中国向け船舶用モーターの販売数量が増加しましたものの、トラック向け製品の販売数量が減少し、減収となりました。

この結果、当部門の売上高は4億10百万円（前年同期比3百万円、0.9%減）、営業利益は31百万円（前年同期比4百万円、12.3%減）となりました。

[運輸業]

港湾運送部門につきましては、セメント関連輸送が増加しましたものの、主に石油小売部門におきまして販売数量が減少したことにより、減収となりました。

この結果、当部門の売上高は、4億76百万円（前年同期比4百万円、0.9%減）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

[アグリ事業]

社有地を活用した農業ビジネスに参入するため、2019年4月1日に農地所有適格法人「株式会社北茨城ファーム」を設立し、営業に向けて準備を進めております。

この結果、当部門の営業損失は3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ24億78百万円減少し、493億57百万円となりました。これは主に、売掛金と現金及び預金の減少によるものであります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ18億74百万円減少し、353億50百万円となりました。これは主に、買掛金の減少によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6億3百万円減少し、140億6百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想につきましては、2019年5月13日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,731	2,923
受取手形及び売掛金	3,313	2,315
たな卸資産	448	427
その他	250	285
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	7,743	5,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,254	13,038
土地	14,704	14,704
その他(純額)	2,912	2,885
有形固定資産合計	30,870	30,628
無形固定資産		
無形固定資産	261	189
投資その他の資産		
投資有価証券	6,097	5,729
投資不動産(純額)	6,354	6,352
退職給付に係る資産	198	203
繰延税金資産	57	56
その他	1,807	1,801
貸倒引当金	△1,553	△1,554
投資その他の資産合計	12,961	12,589
固定資産合計	44,093	43,407
資産合計	51,836	49,357

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,475	2,182
短期借入金	15,685	16,406
未払法人税等	36	19
賞与引当金	342	375
その他	2,569	2,193
流動負債合計	22,109	21,177
固定負債		
長期借入金	10,245	9,433
繰延税金負債	2,149	2,068
退職給付に係る負債	53	55
資産除去債務	511	511
その他	2,156	2,104
固定負債合計	15,116	14,173
負債合計	37,225	35,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	3,577	3,577
利益剰余金	7,651	7,238
自己株式	△37	△37
株主資本合計	13,331	12,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,280	1,087
土地再評価差額金	△2	△2
退職給付に係る調整累計額	△33	△31
その他の包括利益累計額合計	1,243	1,053
非支配株主持分	35	34
純資産合計	14,610	14,006
負債純資産合計	51,836	49,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,019	5,397
売上原価	6,461	4,791
売上総利益	557	606
販売費及び一般管理費	826	883
営業損失(△)	△269	△276
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	100	100
持分法による投資利益	7	9
不動産賃貸料	30	29
その他	8	4
営業外収益合計	146	144
営業外費用		
支払利息	101	97
不動産賃貸費用	16	16
その他	11	3
営業外費用合計	129	117
経常損失(△)	△252	△250
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	21
投資不動産売却益	0	—
特別利益合計	0	22
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純損失(△)	△254	△231
法人税、住民税及び事業税	9	5
法人税等調整額	9	1
法人税等合計	19	6
四半期純損失(△)	△273	△238
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△273	△237

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△273	△238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	△192
退職給付に係る調整額	1	2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△55	△190
四半期包括利益	△329	△428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△329	△427
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、(株)北茨城ファームを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	観光事業	燃料商事 事業	製造関連 事業	運輸業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,473	3,651	413	480	7,019	—	7,019
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	102	—	12	115	△115	—
計	2,474	3,754	413	492	7,135	△115	7,019
セグメント利益又は 損失 (△)	△148	40	35	△10	△82	△187	△269

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△187百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△187百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	観光事業	燃料商事 事業	製造関連 事業	運輸業	アグリ事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,591	1,920	410	476	—	5,397	—	
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	89	—	11	—	102	△102	
計	2,592	2,009	410	488	—	5,500	△102	
セグメント利益又は 損失 (△)	△99	10	31	△1	△3	△62	△214	

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△214百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△214百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの追加）

2019年4月1日に設立いたしました(株)北茨城ファームを連結子会社として連結の範囲に含めたことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント「アグリ事業」を新たに追加しております。